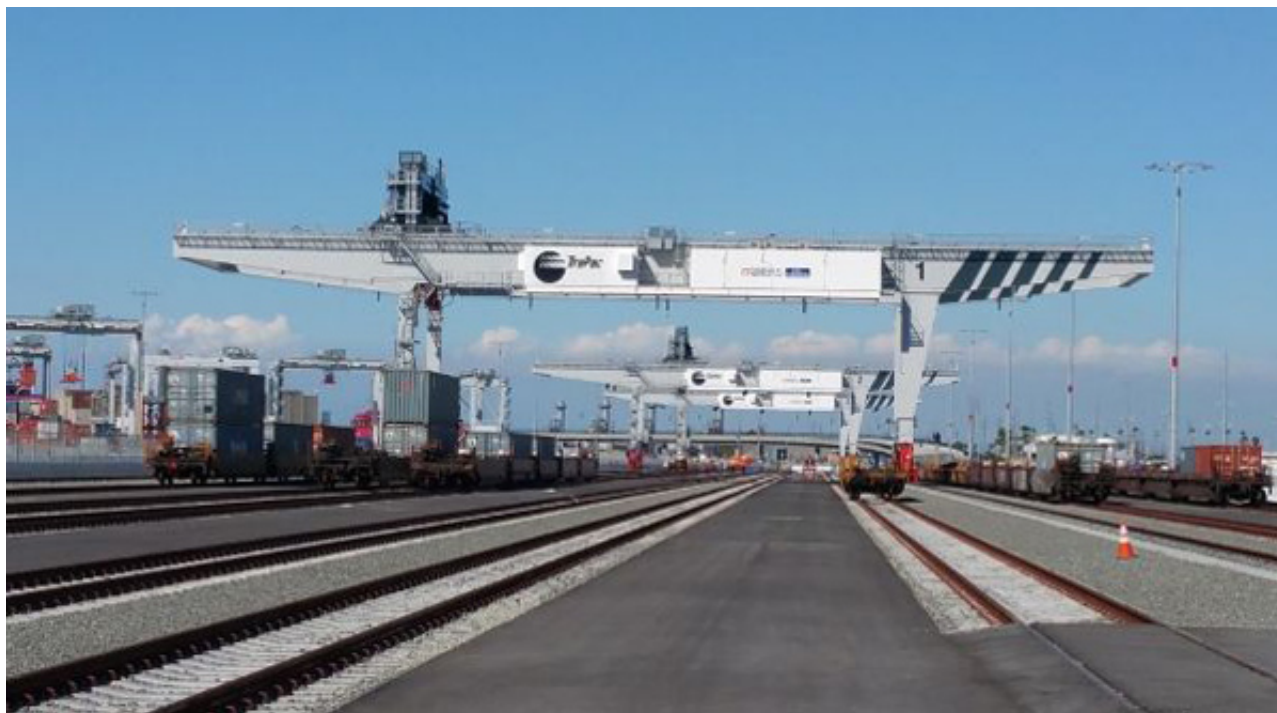


米西海岸で初

## 三井造船、LA港コンテナターミナルに自動化クレーン納入

Edited By LogisticsToday On 2016/12/07



三井造船は7日、米国子会社を通して商船三井傘下のトラパック社（カリフォルニア州ウィルミントン）に鉄道ヤード用自動化コンテナクレーン3基を引き渡した、と発表した。

トラパック社はオークラント港・ロサンゼルス港（ともにカリフォルニア州）、ジャクソンビル港（フロリダ州）でコンテナターミナルを運営するターミナルオペレーターで、納入した自動化コンテナクレーンは、ロサンゼルス港の同社ターミナル内に設置された鉄道ヤード用の門型クレーン。

このクレーン上には運転室がなく、岸壁クレーンから無人搬送車で運ばれてきたコンテナを陸側にある鉄道ヤード内で遠隔・自動でタフスタック（2段積み）される鉄道貨車へ積み込み・取り下ろしのできる荷役機能を持つ。

積み下ろしされる鉄道貨車周りは、コーン着脱などの地上作業員と保守要員の安全を確認しながらターミナル内遠隔操作室から遠隔運転を行う。



1990年代から世界各地で、自動化コンテナターミナルが建設されてきたが、トラパック社のロサンゼルス港ターミナルは米国西海岸で、初となる自動化ターミナルで、クレーンの整備に伴い、岸壁クレーン下から鉄道ヤードまで、の一貫した自動化システムが構築されることになる。

三井造船は97年に世界初の天井式自動化コンテナクレーンをシンカホール港に納入し、05年には自動化コンテナターミナルの荷役効率向上に欠かせないコンテナターミナルマネジメントシステムを名古屋港に納入するなど、アフターサービスを含めたコンテナターミナルのトータルシステム企業として事業展開している。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/268588>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.